

九州運輸局メールマガジン 平成27年8月20日 第313号

～運輸と観光で九州の元気を創ります～

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/>

九州運輸局メールマガジンをご愛読くださりありがとうございます。

九州運輸局メールマガジンは隔週の木曜日にお届けいたします。

次回発行日は平成27年9月3日(木)です。

## 目次

### 1 安全防災情報

・桜島の噴火警戒をレベル4(避難準備)に引き上げ～8月15日午前に気象庁が発表～

### 2 現場レポート

・「或る列車」出発式～8月8日に大分-日田駅間で運行開始～  
・第5回九州 UMI アカデミー講座～7月実施分報告～  
・授業での海事産業の取り上げに期待しています～小・中学校の先生への海事施設等見学会を各地で開催～

### 3 お知らせ

・列車の運転してみない? 鉄道好きの小学生あつまれー!

### 4 九州運輸局ホームページアップ情報

・報道発表  
・お知らせ  
・更新情報(8月6日以降掲載分)

### 5 訂正とお詫び

・平成27年8月6日 第312号配信の九州運輸局メールマガジンの訂正とお詫び

#### 1 安全防災情報

桜島の噴火警戒をレベル4(避難準備)に引き上げ  
～8月15日午前に気象庁が発表～

気象庁は8月15日10時15分、噴火警報を発表し、鹿児島県桜島の噴火警戒レベルを3(入山規制)から4(避難準備)に引き上げました。これに伴い九州運輸局内でも平成22年10月13日に発令していた火山「桜島」への注意体制を警戒体制に引き上げ、防災体制を強化しています。

今年5月29日から発令されている火山「口永良部島」の非常体制も継続中であり、また大雨情報に伴う風水害の注意体制も頻繁に発令・解除されています。

地震や火山の噴火、地震や台風や大雨、強風などの風水害などの自然災害に備え、九州運輸局職員一同、緊張感を持って体制を確保しているところです。

皆様方におかれましても、安全を前提に、正確な情報の入手と冷静かつ適切な判断等をよろしくお願いいたします。

(総務部 安全防災・危機管理調整官)

#### 2 現場レポート

「或る列車」出発式  
～ 8月8日に大分 - 日田駅間で運行開始～

JR九州がクルーズトレイン「ななつ星 in 九州」に続くフラッグシップトレインとして開発し、JRKYUSHU SWEET TRAINとして蘇った「或る列車」が、8月8日午前  
に大分 - 日田駅間で運行を開始しました。

「或る列車」はJR九州が進めている「D & S列車(デザインと物語のある列車)」  
に新たにラインアップされた豪華スイーツ列車で、故原信太郎氏が夢見て、明治3  
9年に九州地区の民鉄「九州鉄道」がアメリカのプリル社に豪華寝台列車を発注し  
ましたが、列車完成時には九州鉄道が国有化されたため、本格的な活用はされな  
かったという物語があります。

大分駅での出発式では、主催者の青柳JR九州社長、来賓の広瀬大分県知事、竹田  
九州運輸局長、デザイナーの水戸岡鋭治氏、特製スイーツの考案者であり東京のレ  
ストランのオーナーシェフ 成澤由浩氏、一日駅長を務めた故原信太郎氏の息子さ  
んの原健人さんや多くの鉄道ファンらに見送られ、終点の日田駅へ向け甘い香りを  
乗せて走り出しました。

「乗ることが旅そのもの」というコンセプトを打ち出し、必ずやお客様に感動して  
いただけるという自信を持って走り出した幻の豪華列車「或る列車」、10月まで  
は大分 - 日田駅間を、11月から来年3月は佐世保 - 長崎駅間を運行します。  
鉄道ファンや鉄道関係者のみならず、地域の方々や観光関係者の大きな期待が寄せ  
られての出発式でした。

出発式の模様は次のURLからどうぞ。

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_313\\_1.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_313_1.pdf)  
(観光部 観光企画課)

---

#### 第5回九州 UMI アカデミー講座

～ 7月実施分報告～

7月4日(土)に開校した「第5回九州 UMI アカデミー」について、7月中に実施  
した講座の模様を下記のとおり報告します。

[平成27年7月11日(土)]

講座初日の11日(土)は、Aグループ22名が参加し、FBS 気象予報士の堀井先  
生による室内に雲を発生させる実験をしながら、自然現象から天気を予測する「海  
と気象」、宗像ユリックスプラネタリウム学芸員の角田(かくた)先生による星座  
や体を使って方位や位置を知る「星と航海術」の講義を受けました。

ロープワークとカヤックの体験講座では、途中雷雨の影響によりカヤックを一時中  
断するハプニングがありましたが、ずぶ濡れになっても笑顔はじける楽しい一日と  
なりました。

なお、Bグループは、7月18日(土)34名参加のもと同講座を実施しました。

[平成27年7月25日(土)]

真夏の太陽が照り付ける中、A・Bグループ合わせて47名が参加し、海の中道  
海洋生態科学館の三宅先生による、ウニやヒトデなどの棘皮(けつ皮)動物を観察し  
ながら「海の生き物」の生態系に関する講義を受講。砂浜のクリーン作業を兼ねて  
貝殻収集を行った「ビーチクリーン」。ヨット強化選手の松苗・原田ペアによるヨ

ットの基礎講座及び「ヨット 49erFX デモ走行」と試乗体験。初めての試乗体験に参加者一同ワクワクドキドキのエキサイティングな一日となりました。

苗・原田ペアは2016年のリオデジャネイロ五輪の強化選手としてトレーニング中のところ、子どもたちに海の楽しさを知ってもらうため、今回講師として参加して頂きました。

[平成27年7月30日(木)]

A・Bグループ合わせて33名が参加し、場所を福岡県海洋水産技術センターに移して、福岡県海洋水産技術センターの広瀬先生による「海と漁業」と題した福岡県の漁業資源に関する講義を受け、海浜清掃の際に収集した貝殻を利用したオリジナルフォトフレームを作成しました。その後、福岡市ヨットハーバーに戻り、日本経済大学の坂口先生による世界中の人々に愛され楽しませられているマリンスポーツについての講義を受けました。

平日で座学中心の講座となりましたが、興味深い内容に参加者からいくつもの質問がなされ、外の気温に負けないぐらいの熱い熱気に包まれました。

講座の様子は次のURLからご覧になれます。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_313\\_2.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_313_2.pdf)

(海事振興部 船舶産業課)

-----  
授業での海事産業の取り上げに期待しています

～小・中学校の先生への海事施設等見学会を各地で開催～

九州運輸局では海事産業の次世代を担う人材育成に積極的に取り組んでいますが、今回は次世代の子どもたちの進路に影響を与える小学校、中学校の教師の皆さんに、実際に海事施設等を見学して頂き、海事産業に対する意識向上・啓発を図る取り組みを、宮崎運輸支局、下関海事事務所、福岡運輸支局・若松海事事務所にて行いましたので紹介いたします。

見学会終了後の先生へのアンケートでは、「海事産業への関心が深まった」「海事産業は重要と思う」「今後の授業において海事産業について取り上げる機会が増えそうだ」との回答が多数寄せられました。見学会に参加された先生が授業などを通じて、一人でも多くの子どもたちに海事産業界の魅力や重要性を伝えてくれることを期待するところです。

7月28日、宮崎運輸支局は宮崎県北部港湾事務所、八興運輸及び九州運輸振興センターのご協力をいただき、日向市内の小・中学校(10校)の社会科担当の先生11名を対象に、細島港にてコンテナターミナル見学、遊覧船による船上見学、RORO船の荷役作業の見学を実施しました。

今後も関係者と連携して海事産業の重要性を伝えていきます。

見学会の様子は次のURLからどうぞ。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_313\\_7.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_313_7.pdf)

8月6日には下関海事事務所が、下関港湾局、関釜フェリー及び三菱重工業下関造船所のご協力のもと、下関市内13の中学校の先生17名を対象に、下関・釜山間に就航する国際旅客フェリー「はまゆう」の船内見学と三菱下関造船所の見学会を開催しました。

今後は下関市教育委員会とも連携し、小学校社会科副読本への海事産業の掲載などにも取り組んでいきます。

見学会の様子は次のURLからどうぞ。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_313\\_8.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_313_8.pdf)

8月10日には福岡運輸支局と若松海事事務所が、阪九フェリー、関門コンテナターミナル及び九州海事広報協会のご協力を得て、行橋市小学校社会科研究会（7校）の先生19名を対象に、阪九フェリーの最新鋭カーフェリー「いずみ」と太刀浦コンテナターミナルの見学会を実施しました。

今後も一人でも多くの青少年が海事産業に就職してくれるよう、海事施設等見学会に取り組んでいきます。

見学会の様子は次のURLからご覧になれます。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_313\\_9.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_313_9.pdf)

### 3 お知らせ

列車の運転してみない？ 鉄道好きの小学生あつまれー！

皆さん列車の運転をした事がありますか？

たぶん、ほとんどの方が「ない」とおっしゃると思います。

ここでご紹介するのは、小学生のお子さんに本物の列車を運転してもらおうというイベントです。「本当に列車の運転ができるのですか？」というお問い合わせをいただきますが、本当です。運転前には運転士さんから操作を教えてもらい、運転台の横に立って見守ってもらいながらの運転です。長さ約18メートル、30トン以上の重量がある車両（平成筑豊鉄道）を自分で動かし、停車させるわけですから大迫力で、運転する子供たちは真剣、かなり緊張しています。この体験イベントは毎年福岡県内の鉄道会社で開催していましたが、今年は鹿児島市交通局でも行います。

もう一つのイベントは、「運転シミュレーター体験」です。

鉄道会社が運転士教育用に実際に使っている「運転シミュレーター」を子供さんに体験してもらいます。このシミュレーターは実際の駅から駅までの風景がリアルに画面に映し出され、マスコン（自動車であればアクセル）やブレーキなども実車と全く同じで、列車のスピードをコントロールし、駅のホームの停車位置に止めるという非常に難しいものです。

どちらの体験も、鉄道マニア垂涎のイベントですが、小学生が対象（列車運転は3年生以上）です。主催は九州の鉄軌道各社、鉄道協会、九州運輸局とで構成する「鉄道の日」九州実行委員会です。

小学生のお子さんがいらっしゃるメルマガ読者の皆さんも是非ご応募ください。

九州運輸局HPに詳しいご案内と申込用紙を載せています。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001\\_022/2015-0818-soumu2.htm](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001_022/2015-0818-soumu2.htm)

このほかにも実行委員会では次のイベントを企画しています。

- ・「レイルフェスタ～長崎のまちを楽しむ路面電車～」(10月11日長崎電気軌道)
- ・鉄道パネル展(10月1日～9日九州鉄道記念館、10月21日～26日ソラリアプラザ)

また、レイルマンズの10月には鉄軌道各社も楽しいイベントを開催します。

今後もこのようなイベントを通じて、安全・安心で地球にやさしく、楽しい鉄道の魅力を発信してまいります。

運転体験募集のチラシと昨年の体験の様子は、次のURLからどうぞ。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_313\\_6.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_313_6.pdf)  
( 鉄道部 計画課 )

#### 4 九州運輸局ホームページアップ情報

--- 報道発表 -----

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#HOUDOU>

--- お知らせ -----

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#OSIRASE>

--- 更新情報 -----

( 8月6日以降掲載分 )

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#KOUSIN>

#### 5 訂正とお詫び

平成27年8月6日 第312号配信の九州運輸局メールマガジンの訂正とお詫び

平成27年8月6日に配信したメールマガジンの記事「『シンポジウム』で九州のクルーズ船誘致を討論～「クルーズ・シンポジウム in くまもと」を開催～」におきまして、「大阪府立大学の池田良穂特認教授」と掲載すべきところ、「大阪大学の池田瑞穂特認教授」と誤って掲載しました。訂正してお詫びいたします。

(九州運輸局メールマガジン編集部)

//////// 編集部より //////////////////////////////////////

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。  
編集部では、運輸と観光に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

////////////////////////////////////

本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/backnumber-top.htm](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm)

本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou\\_mail.html](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html)

九州運輸局メールマガジン編集部 (九州運輸局総務部内)

mail: qst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192